

いま、 やらないあかん!

この思い、より強く。

小学生の子どもを育てる母親だから、子育てや暮らしに悩んでいる皆さんの思いを大切に、政治の場で代弁することが私の役目と、がんばってきました。

少子化だからこそ、子育て支援の底上げを。高齢化社会だからこそ、高齢者が生き生き暮らせる生活の保障を。

これからもまっすぐに求めていきます!

日本共産党

京都市議員

山本陽子

市会

やまもとようこ

市議1期目。2015年、2016年まちづくり委員会、2017年、2018年教育福祉委員会に所属。1974年兵庫県丹波市生まれ。立命館大学卒。在学中、障害児学童の指導員の活動などにとりくむ。新日本婦人の会で、子育てサークル、脱原発の運動などにとりくむ。家族は夫と一女一男。

京都 山本陽子

笑顔
パワフル
行動力

子育て世代の要求実現に奮闘してきました

小学校のような全員制の 中学校給食の実現を

中学校給食は、食育の生きた教材として見直され、また子育て支援としても要望が多く、全国で広がっています。代表質問で取りあげ、実現を求めました。教育長の答弁も変化して運動が京都市を動かしつつあります。



保護者の願いを示そうと、山科でお母さんたちと

給食を食べている中学生

87% 30%
全国平均 京都市

食べている生徒が少ないから、子どもは「恥ずかしい。給食を隠して食べている」という声も。



中学校卒業まで
無料化を求め、
引き続きがんばります

子どもたちの遊ぶ公園を増やして、 利用しやすい環境に!

山科区の公園を調査し、東野公園や中央公園の施設・遊具の修理改善や、東山自然緑地の再整備に伴う疏水公園の改善について市民の要望を申し入れてきました。公園を増やして、子育てしやすい山科にしていきたいです。



年度途中でも保育園に入れるように、 そして障害のある児童の保育の充実を!

年度途中でも、障害があっても安心して入れるよう、認可保育所の増設、保育士確保のための処遇改善を引き続き求めます。

公共交通の充実は、 現在の敬老乗車証制度を守ってこそ!

敬老乗車証守ろうの運動と連帯して、代表質問で京都市に改悪方針撤回を求めました。鏡山循環バス・くるりの増便、そして小金塚コミュニティバスの実現を市議会でも取り上げてきました。引き続き、公共交通充実の願い実現に奮闘します!



署名活動